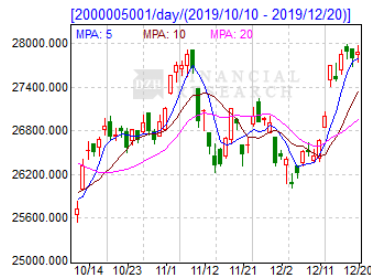


# 中国株ウィークリーレポート

2019/12/23

## 【指数日足チャート】

### ▼ハンセン指数



### ▼上海総合指数



## 【主要株価指数】

	週末終値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	18年末株価
NYダウ	28,455.09	78.13	0.28	1.14	21.98	23,327.46
NASDAQ	8,924.96	37.74	0.42	2.18	34.51	6,635.28
日経225	23,816.63	-48.22	-0.20	-0.86	19.00	20,014.77
上海総合	3,004.94	-12.13	-0.40	1.26	20.49	2,493.90
滬深300 (CSI300)	4,017.25	-9.90	-0.25	1.24	33.43	3,010.65
ハンセン	27,871.35	70.86	0.25	0.66	7.84	25,845.70
中国企業	11,030.23	44.34	0.40	1.77	8.94	10,124.75

## 【株式概況】

### 先週の動き: ハンセン指数は0.7%高と3週続伸、上海総合指数は1.3%高

香港市場ではハンセン指数が週間で0.7%高と3週続伸。米中通商交渉の「第1段階合意」が買い安心感につながったほか、中国の金融緩和に対する期待も相場を支えた。ただ、28000ポイントに近づく水準まで上昇したことで高値警戒感も浮上。クリスマス休暇を前に利益確定売りが上値を抑えた。本土市場では上海総合指数が1.3%高と3週続伸。米中関係の悪化に対する警戒感が和らぐなか、堅調な経済指標の発表を好感。預金準備率の引き下げ観測の浮上で金融緩和に対する期待も相場を支えた。

### 今週の展望: 香港市場は方向感に乏しい展開か、クリスマスで2日半の取引

香港市場は方向感に乏しい展開か。クリスマス休暇入りで24日後場から26日まで休場となるため、わずか2日半の取引。市場参加者も少なく閑散とした取引となることが予想される。米中通商協議での「第1段階の合意」を受けて先行き不透明感が後退しているが足元の相場上昇で高値警戒感も出始めており、新たな好材料が出てこない限りは上値を迫る展開にはなりにくいか。一方、本土市場は上値の重い展開が予想される。上値では利益確定売りが出やすいと思われるが、預金準備率の引き下げ観測が相場を支えそうだ。

## 先週のハンセン騰落ランキング

▼騰落率上位	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 CNOOC(00883)	12.50	6.11
2 恒安国際集団(01044)	56.80	4.89
3 九龍倉置業地産(01997)	45.95	4.43
4 中国生物製薬(01177)	10.76	4.06
5 テセント(00700)	375.20	3.93
6 ファイナ・モバイル(00941)	63.95	3.81
7 ファイナ・ユニコム(00762)	7.25	3.28
8 中国工商银行(01398)	5.98	3.10
9 中国旺旺(00151)	7.28	2.68
10 石業集団(01093)	18.24	2.59

▼騰落率下位	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 吉利汽車(00175)	14.62	-5.06
2 万洲国際(00288)	7.77	-4.66
3 銀河娛樂(00027)	55.65	-3.97
4 AIAグループ(01299)	79.90	-3.33
5 舜宇光学科技(02382)	138.60	-2.87
6 信和置業(00083)	11.30	-2.08
7 瑞声科技(02018)	65.05	-1.66
8 太古A(00019)	72.15	-1.64
9 恒基兆業地産(00012)	38.15	-1.42
10 中国平安保険(02318)	91.80	-1.40

## ▼今週の主なイベント

- 12月24日(火) 【香港】クリスマスで半日立ち会い
- 12月25日(水) 【香港】クリスマスで休場(~26日)
- 【米国】クリスマスで休場

## ▼今週の期待材料

- ◆習近平国家主席とトランプ米大統領が20日に電話会談、来年1月上旬に「第1段階の合意」文書に署名へ
- ◆中国人民銀行が年明け後に預金準備率を引き下げるとの観測が浮上、金融緩和への期待が相場の支えに
- ◆中国の11月の主要経済指標が総じて市場予想を上回る強い結果に、景気の先行き懸念が後退

## ▼今週の懸念材料

- ◆中国人民銀行が12月の最優遇貸出金利の据え置きを決定、市場の利下げ期待が後退
- ◆マカオの中国返還20周年記念式典でのサプライズが不発、マカオ証券取引所の新設計画は検討段階
- ◆香港市場はクリスマス休暇入りで2日半の取引、市場参加者が減り閑散とした取引になる公算

## 【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ 香港鐵路(00066): 閉鎖していた東鉄線大学駅が21日に営業再開
- ☆ 東風汽車集団(00489): 11月の自動車販売台数が2%増加、1-11月は4%減
- ☆ チャイナ・ユニコム(00762): 11月の4G加入純増数が前月比3倍に拡大
- ☆ 中国再保険(01508): 1-11月の保険料収入が12%増加、11月は11%増
- ☆ キングソフト(03888): クラウド事業子会社の分離上場計画、米SECに草案提出
- ☆ 波司登国際(03998): 自社株買い計画の実施を発表、最大で発行済み株式の10%
- ★ 香港証券取引所(00388): 李小加CEOが保有株0.05%を売却
- ★ チャイナ・テレコム(00728): 11月の4G加入純増数が前月比29%減少
- ★ 恒安国際集団(01044): 出資先の投資計画、フィンランド最高行政裁が否決
- ★ 魏橋紡織(02698): 19年本決算は紡織事業の需要低迷で大幅減益の見通し

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります。また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。